

タイ語コンテスト 2021 講評

加納寛

今年度のタイ語コンテスト課題は、『とっとこハム太郎』主題歌のタイ語バージョンでした。この歌は、昨 2020 年のタイにおいて全国的に広まった学生・生徒等の若者による政治的デモで、替え歌が盛んに歌われました。その様子は日本のニュースでも頻繁に取り上げられていたので、覚えていらっしゃるかもしれませんね。政治的立場は別として、デモで皆で熱唱できるというのは、この歌が若者にかかなり浸透しているということを意味しています。是非、タイ語で歌えるようにしていただいて、(デモの替え歌ではなく、本来の歌詞で) タイ人と一緒に盛り上がりたいただきたいと思います。

今回は、COVID-19 対応のため、昨年度と同様に Moodle 上に自分が暗唱している動画をアップしてもらう方式で開催しました。その結果、11 名の参加があり、それぞれ頑張りを見せてくれました。全体のレベルは非常に高いものでした。参加者に経営学部所属の学生さんが多かったのは、同学部の積極的な傾向を物語るものだと思います。素晴らしいです！

審査は、日本人教員とタイ語ネイティブ教員の 2 名で行いました。1 位は突出しており、母音や子音、声調といった発音はもちろん、パフォーマンス的にもずば抜けていました。こういうサービス精神というか、パフォーマンス精神、とっても重要だと思います！ 一方、2 位から 5 位までは、ほとんど点差が開きませんでした。5 位以上の方は、自信をもってくださいよと思います。

結果として、1 位は経営学部、2 位は現代中国学部、3 位と 4 位はまた経営学部、5 位は国際コミュニケーション学部というように、経営学部の躍進が目立ちました。

タイ語コンテストは、将来、参加者がタイ人と一緒に働く際に「歌って踊る」ことによって円滑なコミュニケーションの一助としようとする意図をもっています。今回のコンテストの経験を、是非、タイでのボランティアや、卒業後のお仕事にも活かしていただければ、こんなに嬉しいことはありません。